長崎がんばらんば国体２０１４

川端　大介

　１０月１３日に長崎県五島市で開催された。第６９回国民体育大会トライアスロン競技に鳥取県代表として参加しました。台風１９号の影響により競技内容はスイム５００ｍ、ラン５ｋｍのアクアスロンに、スタート時間は１６００時に変更になりました。

　スタート１５分前に開会式、スタートセレモニーが行われました。開始式・スタートセレモニーが行われ前に、それまで降っていた雨が止み、風は有りましたが晴れ間の見える中でレースは行われました。スタートセレモニー後、前年度の成績順に名前がコールされ、スタートレーンは外側の７レーンを選択しました。

スイムコースは１周５００ｍで４つのブイを回る長方形のコースでした。第１ブイまでは１５０ｍと距離も短い事も有り終始バトルのような状況でしたが、工コーチの事前のアドバイスとテクニックのおかげで上手く対処することが出来ました。第２ブイを回り第３ブイまでの間で集団か少しずつ離され始めたので、キックを強く打ちピッチを上げ、なんとか集団についていきました。第３、４ブイを回る時にも再度バトルの様な状況でしたが、そこでも工コーチのアドバイスとテクニックが活きました。６分４８秒３５位でスイムアップしました。

ランは２．５ｋｍを２周回の５ｋｍ、折り返しが２か所あり、カーブも多く減速とダッシュを繰り返す走りにくいコースでした。台風の影響で風が強く追い風の時は良いのですが、向かい風になると押し返されそうな感じが有りました。ランスタートして直ぐに前を行く選手が何人か見えたので、オーバーペース覚悟で追いかけました。５００ｍを過ぎたぐらいから、いつものレースと違う苦しさを感じました。後で思うと軽い酸欠だったと思います。１．５ｋｍを過ぎた辺りから刺すような腹痛に襲われ、思ったようにペースが上がらず、すぐ前に集団が見えているのに追い付けない苦しい状況が続きました。２周目には少し腹痛も治まり、追い風でリズムに乗りに前にいた集団に追い付き、前から落ちてきた選手も何人かかわし、自己最高の２５位でゴールすることが出来ました。

結果としては自己最高の２５位で終わり、全力を出し切り納得のレースでしたが、自信の有ったランで思うように走れず、ランラップも１８分３６秒（２１位）で終わってしまったことに少し悔いが残ります。エリートレース、国体で上位に食い込むには５０００ｍ１５分台前半の走力が必要であると感じました。

この日は台風の影響で室内競技も含め多くの競技が中止を決定する中で、自然の中で行うトライアスロンを実施するには大変な協議を重ねたと思います。競技実施を決定した大会関係者の勇気と決断力には感謝の気持ちでいっぱいです。最後に成りましたが、国体に参加するにあたり、鳥取県トライアスロン協会をはじめ多くの方に御支援、御協力を頂きました。この場をお借りしお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

再来年から正式種目となる岩手国体からはチームエフォーツの選手を始めとする若手選手の活躍を期待したいと思います。